

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	福祉総務課長 矢部 哲也	
健福-05	共生社会推進事業	☒ 自治事務	主管課	福祉総務課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(1) 健康福祉	施策の方針	4-(1)-①多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	共生社会の構築に向けた施策を推進するため
効果	社会との関わりの中で何らかの障害に直面している人をはじめ、すべての市民が安心して自分らしく暮らすことのできる共生社会を実現する。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

・共生社会の推進に関する研修会等を行った。	
・ケアラー支援にかかる理解啓発及びつながりづくりに向けた取組を行う。	
・現状や将来に不安を抱く市民が長期的な視野を持ち、社会との新たなつながりを得ることができるよう鎌倉版フォルケホイスコーレ事業を行った。	
・鎌倉市版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム「人と地域がつながるプラットフォームかまくら（通称ここかま）」を設立した。市内で孤独・孤立対策に資する活動をしている各団体へのヒアリングを実施したほか、団体向けプラットフォーム創設記念イベントとして講演会及び団体交流会を開催。プラットフォームへの参加を呼びかけた。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	鎌倉版フォルケホイスコーレ運営事業(令和3年度「若者チャレンジ事業」)	研修実施	事業に満足し、社会との新たなつながりを構築し始めた参加者の割合(%) (指標は令和4年度から)	70 /	70	70	100%
				6,000 /	6,000	6,561	
02	共生社会の構築に向けた普及啓発事業	研修実施	参加者数(人)	361 /	300	300	120%
				169 /	228	188	
03	地域共生に関する施策検討事業	ケアラー支援にかかる理解啓発、補助金交付等	補助金申請件数(件)	— /	—	1	
				321 /	922	600	
04	鎌倉市版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム運営事業	研修実施	プラットフォームへの参加団体数(団体)	— /	—	2	
				50 /	300	200	
05	一般事務経費	共生社会推進事業に関する事務経費	指標なし	— /	—	—	
				253 /	298	308	
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	3,000 /	3,000	3,280	
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	3,793 /	4,748	4,577	
		事業費の合計(千円)		6,793 /	7,748	7,857	
		人件費(千円)			11,798	10,244	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	4.0	3.1	1.5	1.2	1.5	1.2
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鎌倉版フォルケホイスコーレ運営事業(令和3年度「若者チャレンジ事業」)	対話と表現の研修プログラムの参加者について、事業実施後に参加者同士でのつながりを継続している割合が70%と目標値を達成したことから、今後も継続して、研修プログラムにて参加者へ働きかけていく。	共に助けあい、つながり合うことのできる多様性のある共生社会を構築する人材を育成することを目指す。	鎌倉版フォルケホイスコーレについて今後の方向性をまとめ、将来の実施方法等について検討することが課題である。
02	共生社会の構築に向けた普及啓発事業	共生社会に関する市民意識を形成するため、市民向け研修及びかまくら市民共生サポーター向け研修を実施し、参加者361名に対し、共生社会の構築に向けた普及啓発を行った。	様々な機会を捉え、市民や職員に向けた研修会等を実施することにより、共生社会についての意識形成及びその実現に向けた仕組みづくりに寄与する	引き続き、市民講座等を行うことで共生社会推進の啓発を行う。
03	地域共生に関する施策検討事業	ケアラー当事者同士のつながり・支え合いを推進するために、ケアラー支援グループへの活動補助金への申請件数を指標とした。	補助金の交付をはじめとしたケアラー支援条例に基づく各施策をすいしんすることにより共生社会の実現に寄与することから事業として妥当である。	ケアラー支援推進のための分野を横断した庁内関係課との連携。
04	鎌倉市版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム運営事業	孤独・孤立のない共生社会の推進には、官民の連携が不可欠となることから、プラットフォームへの参加団体数を指標とした。	官民連携によるプラットフォームの運営を通じ、市民が地域とつながりやすい環境や仕組みをつくり、市民が社会参加できる選択肢を増やすことで、孤独・孤立のない共生社会の実現に寄与することから妥当である。	今後のプラットフォームのあり方、展開について、引き続き官民の連携の上、取り組んでいく。
05	一般事務経費	消耗品等の事務経費のため成果指標は設定していない。	事務経費として不可欠である。	
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	1 統合済み
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
	協働実施済の場合のパートナー	社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会、特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議、社会福祉法人きしろ社会事業会

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☒ 拡充	☐ 改善・変更	☐ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
・共生社会への取組を進めるに当たり、職員、市民等の理解・啓発を促進する必要がある。 ・ケアラー支援条例に基づき、新たな支援策や既存の支援策を活用しながら、困りごとを抱えるケアラーに対し、支援を行っていく。 ・鎌倉版フォルケホイスコーレ事業について、令和6年度も一定の評価を得たことから、令和7年度に実施するとともに、今後の事業の方向性について引き続き検討していく。 ・鎌倉市版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームについて、今後はさらに団体を増やすことで機運を高めつつ、官民連携による孤独・孤立のゼロ次予防となる取組を創発していく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	鎌倉版フォルケホイスコーレ事業において、事業に満足し、社会との新たなつながりを構築し始めた参加者の割合						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
研修内容に満足し、行動変容に結び付くきっかけを得ることを目的とするため	目標値			70.0	70.0	70.0	70.0	
	実績値			68.0	68.0	70.0		
	達成率			97.1%	97.1%	100.0%		

指標(単位)	市民等に対する共生の意識啓発を目的とした研修参加者						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
共生社会に関する市民等の意識形成の指標とするため。(R2年度はコロナ禍により啓発事業を見合わせたため目標値設定せず)	目標値	-	-	180.0	256.0	300.0	300.0	
	実績値	270.0	-	256.0	391.0	361.0		
	達成率	-	-	142.2%	152.7%	120.3%		

指標(単位)	ケアラー支援グループへの活動補助金への申請件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
ケアラー当事者同士のつながり・支え合いの場の整備をはかる指標とするため。	目標値						1.0	
	実績値							
	達成率							

指標(単位)	鎌倉市版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームへの参加団体数						単位	団体
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
孤独・孤立対策に関する官民連携の推進をはかるための指標とするため。	目標値						30.0	
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う
他市比較に関する考え方

鎌倉版フォルケホイスコーレ、共生社会推進の研修会など独自の事業が多く、ベンチマーク設定が困難であるため、他市比較は実施しない。